

厚生科学審議会 疾病対策部会 臓器移植委員会(第80回)	資料5
令和8(2026)年7月15日	

認定ドナーコーディネーター協議会
及び
認定ドナーコーディネーター養成プログラム
について

認定ドナーコーディネーター協議会
会長 黒田泰弘

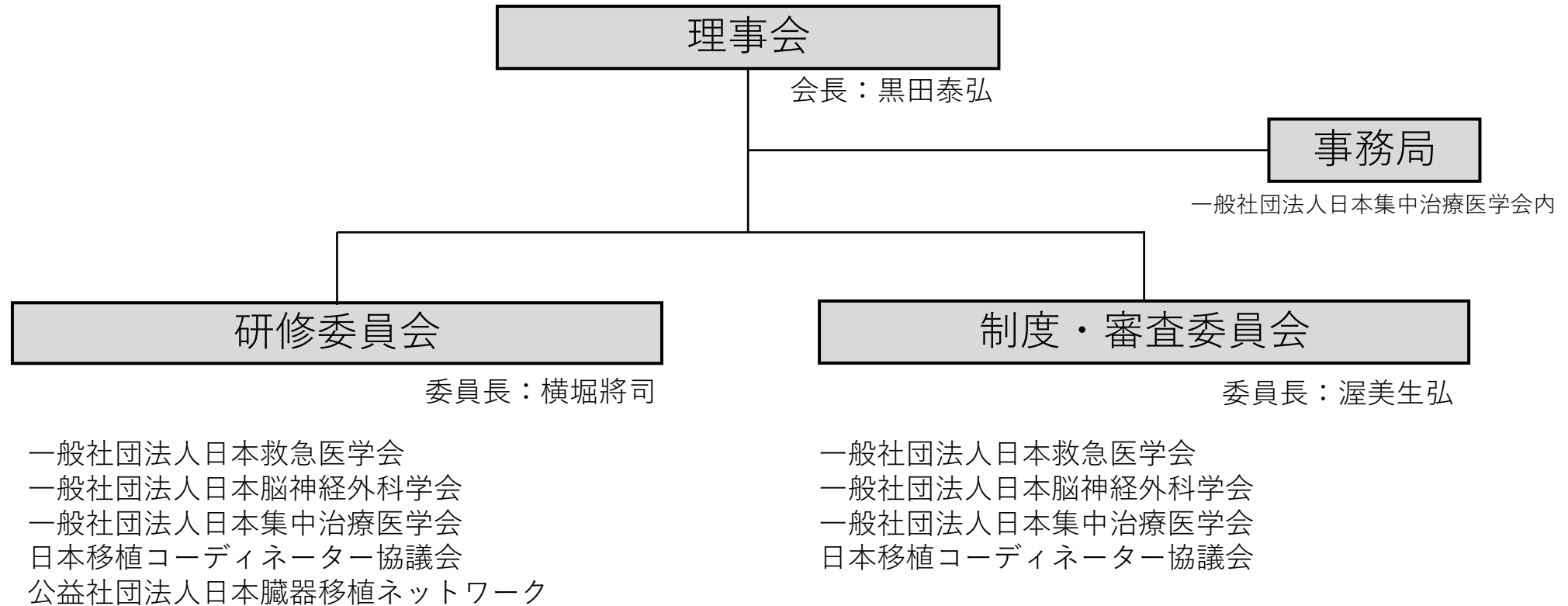
認定ドナーコーディネーターとは

認定ドナーコーディネーターは、臓器提供を行う施設内に在籍し、臓器提供に関する説明・同意取得等に係る認定を取得している臓器移植コーディネーター（院内ドナーコーディネーター）であり、臓器提供病院内で臓器提供に関するプロセス（説明・同意取得等）を進めることができる。

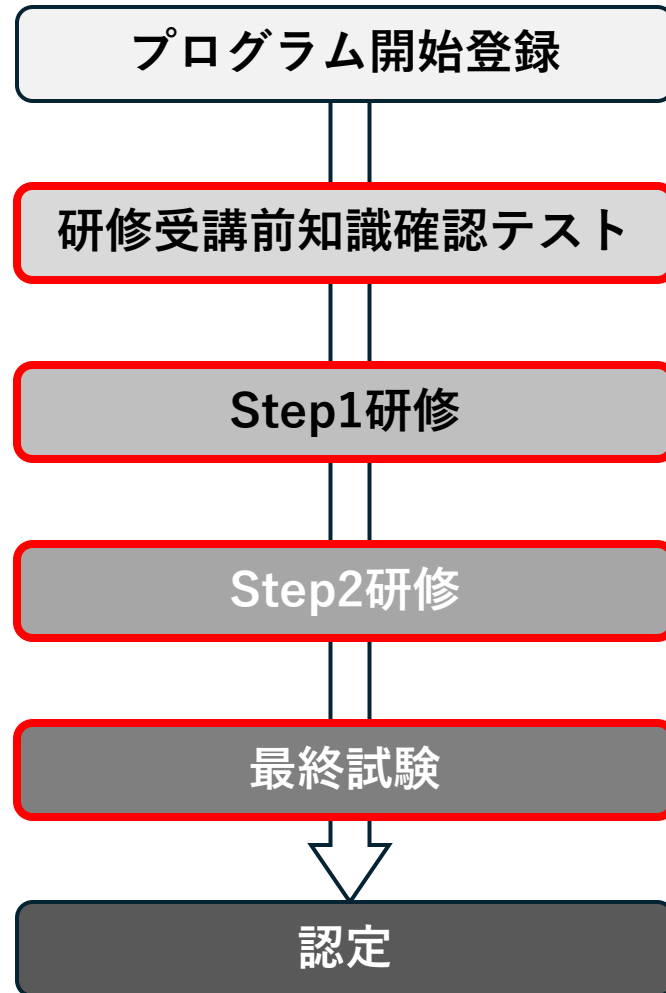
認定ドナーコーディネーター協議会の構成

目的 認定ドナーコーディネーターの研修・認定・更新等の業務を実施し、臓器提供候補者の家族への臓器提供に係る説明・同意取得等の業務を適正に実施できるようにすること等を通じ、臓器提供者の尊い意思を確実に反映し、臓器移植医療の質の向上と発展を促し、もって国民の福祉に貢献する。

会員 (一社) 日本救急医学会、(一社) 日本脳神経外科学会、(一社) 日本集中治療医学会、
日本移植コーディネーター協議会、(公社) 日本臓器移植ネットワーク

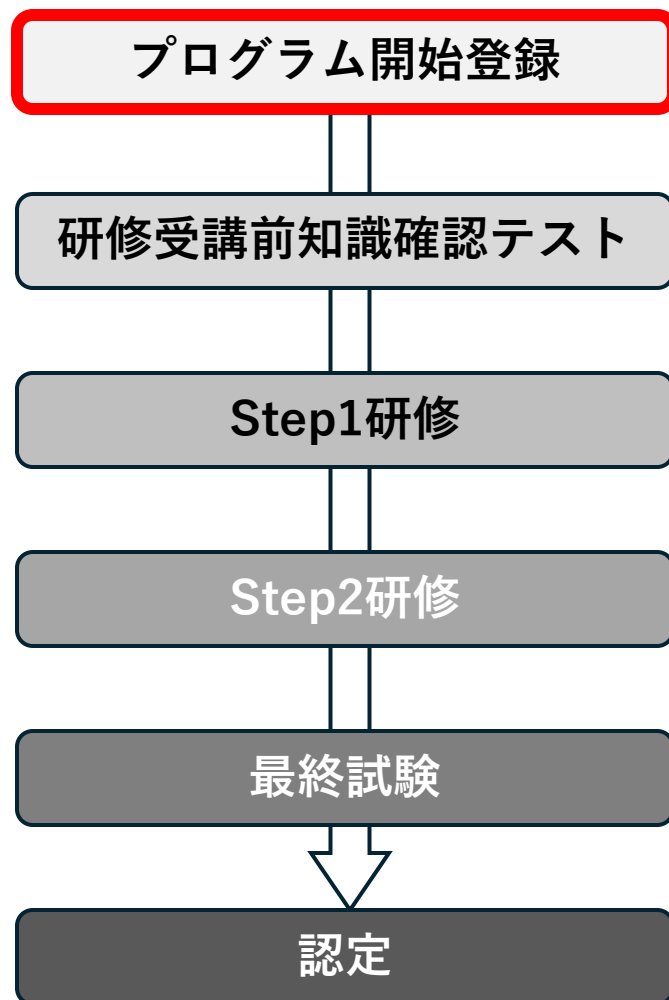


認定ドナーコーディネーター養成プログラム



内容	形式
法令解釈、承諾書の記載、脳死判定、家族支援、あっせん機関との連携等など	オンライン試験
臓器提供可否判断、ドナー情報収集、承諾を前提とした家族説明、承諾書の記載など	模擬症例を用いたロールプレイ演習
研修受講前知識確認テストやStep1研修で学習した内容に関して、実事例を通じて、知識の定着を図る	実症例を見学し、事例レポートを提出
実際の同意取得を想定した面談試験	複数名による盲検評価で複数回実施

認定ドナーコーディネーター養成プログラムの開始条件



(受講希望者の所属する医療機関の施設条件)

1. 過去3年間に3例以上の脳死下臓器提供事例（脳死判定後に臓器提供がなされなかったものを含む）

(受講希望者の個人条件)

2. 医療機関を問わず、過去3年間のうちに3例以上の脳死下臓器提供事例対応もしくは支援経験（うち1例は同意取得等の場面での同席経験があることが望ましい）
3. 医療機関における3年以上の勤務経験
4. 所属医療機関における1年以上の臓器提供に関する主体的活動
5. 所属する病院長からの推薦

直近の経験事例から1年間にわたって開始申請可能

研修受講前知識確認テストについて



【受講要件】

養成プログラムの開始登録を行い、協議会事務局より認定希望者番号を発行された者。

【試験形式】

オンライン形式 100 問（予定）

【試験内容】

- ・ 移植医療全般
- ・ 法令解釈
- ・ 認定ドナーコーディネーターの業務内容について
- ・ 急性期・終末期の患者・家族サポートについて
- ・ 第一報受信への対応
- ・ ドナー候補者の一次評価と一次評価チェックリストの記載
- ・ 家族面談時の対応、承諾書及び問診票の作成
- ・ 院内体制の整備及び調整
- ・ 脳死判定について
- ・ 心停止後臓器提供について
- ・ メディカルコンサルタントへの対応
- ・ 摘出チーム（3次評価）への対応
- ・ 組織適合性検査及び感染症検査について
- ・ ドナーチャートの理解と記載
- ・ あっせん機関との連携について
- ・ 摘出手術について
- ・ 事後評価
- ・ 家族支援
- ・ その他必要と考えられる事項

Step1研修について



【受講要件】

研修受講前知識確認テストに合格していること。

【研修形式】

模擬症例を用いた研修

【研修内容】

- ・ 第一報受信時の初期対応（患者及び家族情報の把握・確認・記録）
- ・ ドナー候補者の一次評価、1次評価チェックリストの作成
- ・ あっせん機関の役割とコーディネーターとの連携
- ・ ドナーチャートの作成
- ・ 承諾行為実施前の導入的説明
- ・ 承諾を前提とした家族への説明（説明冊子を用いること。）
- ・ 承諾書及び問診票の作成
- ・ 家族対応記録の作成（承諾前、承諾時、承諾後）

【評価方法】

研修中に作成した模擬書類、研修中の受講姿勢等を総合的に勘案し、Step 2の受講可否を判断する。

Step2研修について



【受講要件】

Step1 研修を受講していること。Step 2 の受講について問題無いと判断されていること。

【研修形式】

所属する病院もしくは研修協力病院内で発生する臓器提供の実症例を用いた研修を行う。研修は見学を主体として行うこととし、見学を希望する事項については、対応中のコーディネーターに予め伝えること。なお、臓器提供病院で対応中のコーディネーターの裁量に応じて、補助を行うことは差し支えない。

また、1 事例で以下の内容全てを研修する必要はなく、複数事例を用いて研修を完結することも可能である。

【研修内容】

- ・ 同意取得行為の見学
- ・ ドナーの血液検査のための準備補助（採血管準備、検体搬送補助）
- ・ ドナーチャートの記載補助・DDDS へのアップロード補助
- ・ メディカルコンサルタントへの対応見学、補助
- ・ 摘出スケジュールの調整見学
- ・ 摘出チーム（3 次評価）への対応見学、補助
- ・ 臓器摘出手術時の補助（手術室記録用紙の記載見学等）
- ・ 摘出チームの誘導見学、補助
- ・ 臓器搬送手段の手配見学、補助（摘出チーム出発時のタクシー等）

【評価方法】

上記の各項目について、レポートを作成する。
レポートの記載内容をもって、評価を行う。

最終試験について



【試験形式】

対面形式で、模擬症例を用いる。

30 分以上の審査を 2 回以上実施。

1 回の審査においては 1 人の受講希望者に対して 2 名以上の家族役を配置し、2 名以上の評価者がブラインドで評価する。

【試験内容】

- ・ 承諾行為実施前の導入的説明
- ・ 承諾を前提とした家族への説明（説明冊子を用いること。）
- ・ 承諾書及び問診票の作成

【評価方法】

- ・ 1 回の審査で、家族役と評価者の合計 4 名以上が、評価票を用いて評点・段階評価を行う。
- ・ 2 回の審査における評点の平均点と、家族役と評価者が行う段階評価・コメントを勘案し、可否を判断する

令和 8 年度募集生に関するスケジュール及び費用

いずれも税抜



7月15日～8月3日（予定）

8月31日（月）オンライン形式

10月27日（火）出島メッセ長崎
（第54回日本救急医学会総会・学術集会）

各個人によって異なる

未定

認定ドナーCo養成プログラム開始登録費	7万円
受講前知識確認テスト受講料	7万円
Step1受講料	35万円
Step2受講料	
最終試験受験料	35万円
認定ドナーCo認定料	10万円
計	94万円

研修の免除について

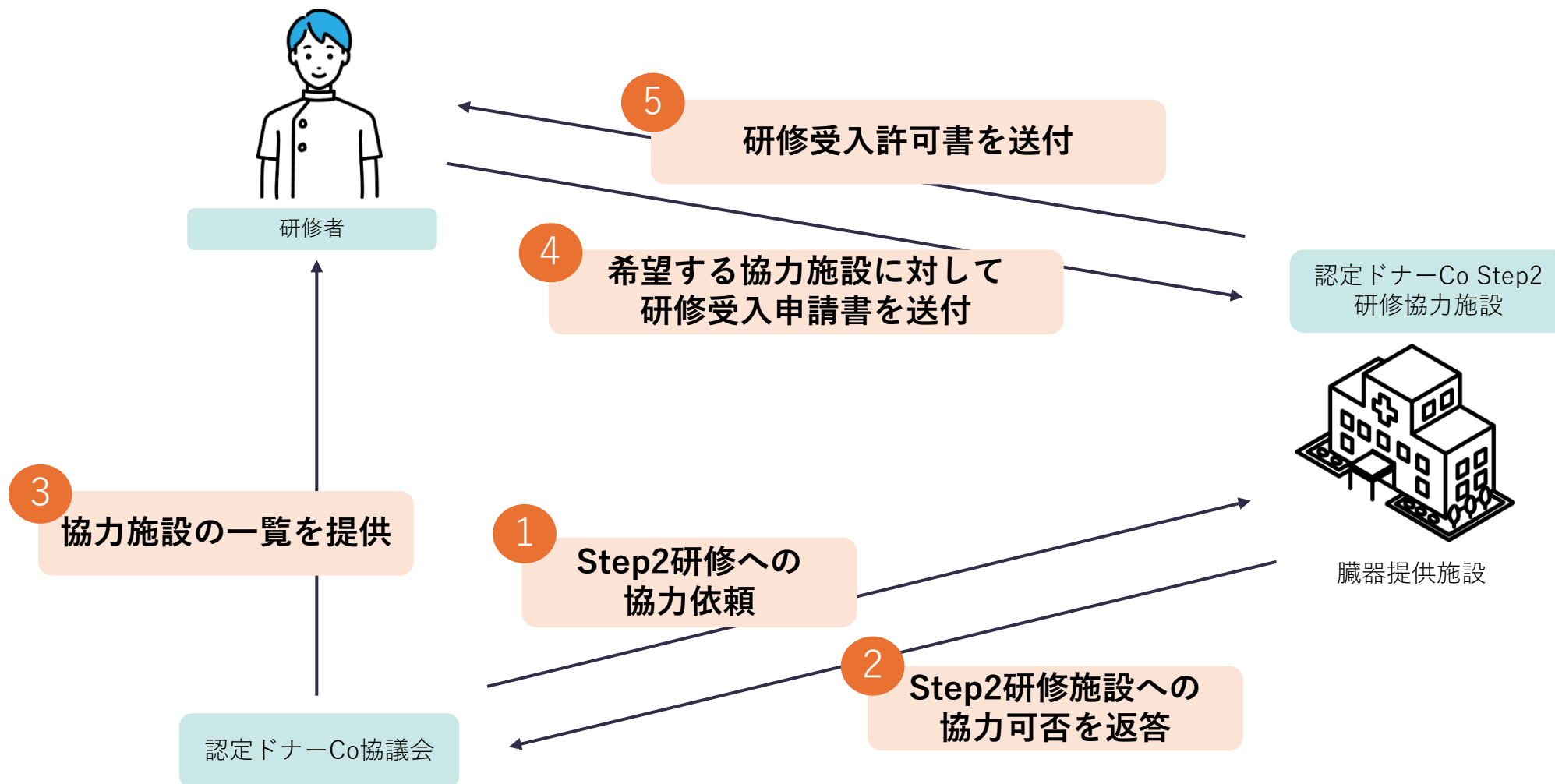


- ・ 養成プログラム開始登録の有資格者
- ・ 要件を満たす者（過去もしくは現時点で臓器あっせん機関のコーディネーターであった者、都道府県臓器移植連絡調整者を含む）

全てまたは一部の審査過程を免除することが可能

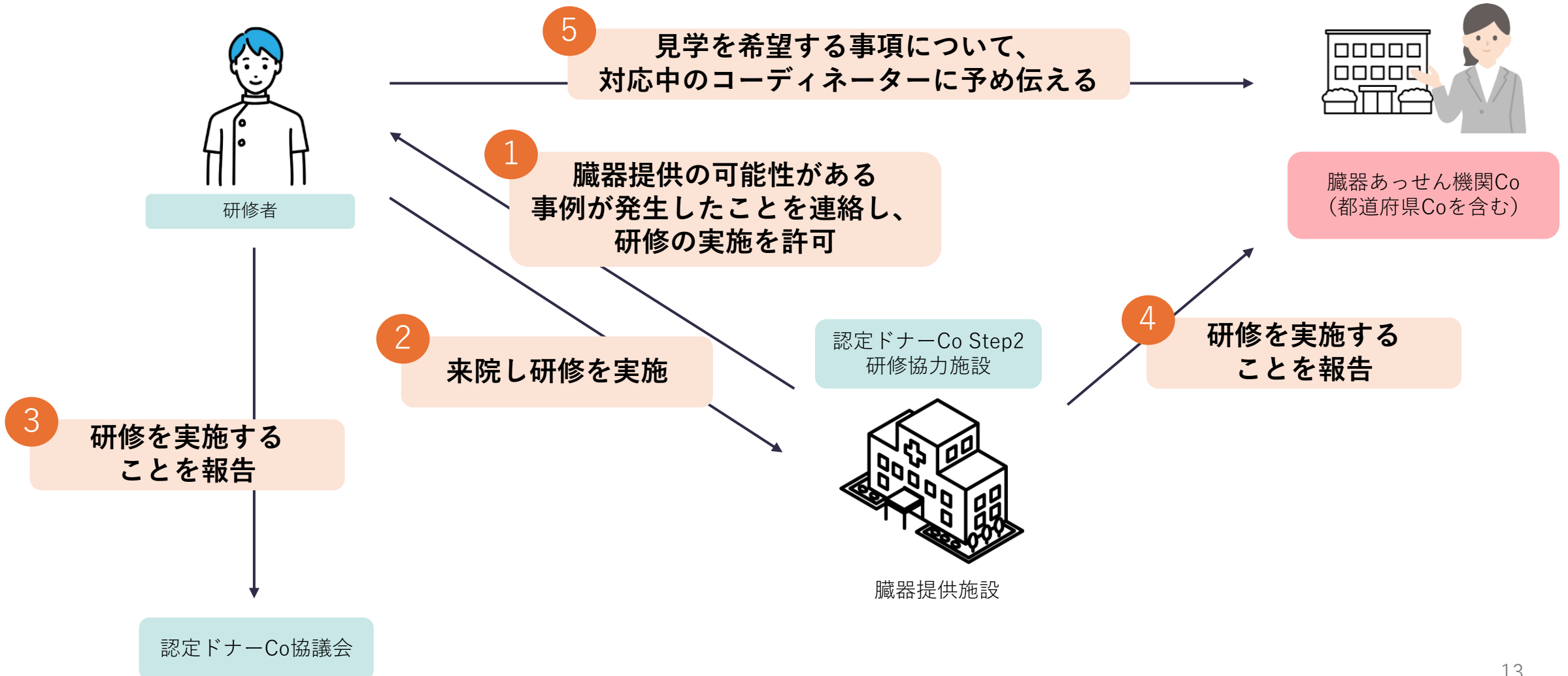
Step2研修協力病院について（令和8年度の運用）

研修の実施前



Step2研修協力病院について（令和8年度の運用）

研修の実施時



更新について

認定期間について

1. 認定日から起算し、認定から3年を経過して迎える 9 月 2 9 日まで

更新に必要な事例数について

1. 臓器提供に関する説明・家族対応等（単なる選択肢提示の補助にとどまらず、認定ドナーコーディネーターによる主体的な家族への情報提供の実施や面談を指す）： 3 事例以上
2. 自院のみならず、医療機関同士の連携に基づく他院における活動を含むことができる
そのうち 1 事例は立会人と共に行う同意取得行為を実施している

HPについて

一般社団法人日本集中治療医学会HP
トップページ > ページ下部

日本集中治療医学会 THE JAPANESE SOCIETY OF INTENSIVE CARE MEDICINE				
学会について 医療提供体制 学術集会 認定制度 機関誌・刊行物 研究 セミナー お知らせ				
本学会について	医療提供体制	学術集会	認定制度	研究
理事長挨拶	都道府県別ICUならびにハイケアユニット等病床数	年次学術集会 第53回日本集中治療医学会学術集会 第52回日本集中治療医学会学術集会 今後の学術集会 過去の学術集会	学会認定専門医制度 学会認定集中治療科専門医一覧 学会認定専門医研修施設一覧	臨床研究支援・研究助成 Journal Club JIPAD (ICU症例登録) JIPAD参加施設
歴代理事長・歴代学術集会会長	学会認定専門医研修施設一覧	支部学術集会 支部学術集会レポート 過去の支部学術集会	機関認定専門医制度	セミナー
会員動向	小児集中治療室 (Pediatric Intensive Care Unit)	eAPRIN(JSICMコース・会員無料)	専門医動向	本会主催セミナー 支部主催セミナー
ロゴマークについて	学会認定集中治療科専門医一覧	海外団体・学術集会	専門医共通講習	お知らせ
タグライン・ボディコピーについて	集中治療認証看護師 データ一覧	他学会学術集会	集中治療認証看護師	お知らせ一覧
学会賞	集中治療専門臨床工学技士一覧	サマーキャンプ	集中治療理学療法士	関連団体
事務局・アクセス	集中治療理学療法士一覧	創立50周年記念事業 記念式典/セミナー 国際イベント 2月9日「集中治療の日」 創立50周年記念誌	集中治療超音波画像診断認定制度	日本集中治療推進機構
組織	集中治療超音波画像診断認定医一覧		集中治療専門薬剤師	その他
支部	集中治療専門薬剤師一覧		機関誌・ガイドライン	認定ドナーコーディネーター協議会
理事会の活動報告	日本専門医機構認定 集中治療科専門医		ガイドライン・指針等	
事業内容	日本専門医機構認定 集中治療科専門医研修施設・研修協力施設一覧		日本集中治療医学会雑誌 Journal of Intensive Care Intensive Care NEXT 出版物	
委員会/ワーキンググループ等				
定款・細則				
多職種協働活動における指針				
個人情報/COIに関する規定				

<https://www.jsicm.org/CEDCO/>

認定ドナーコーディネーター協議会



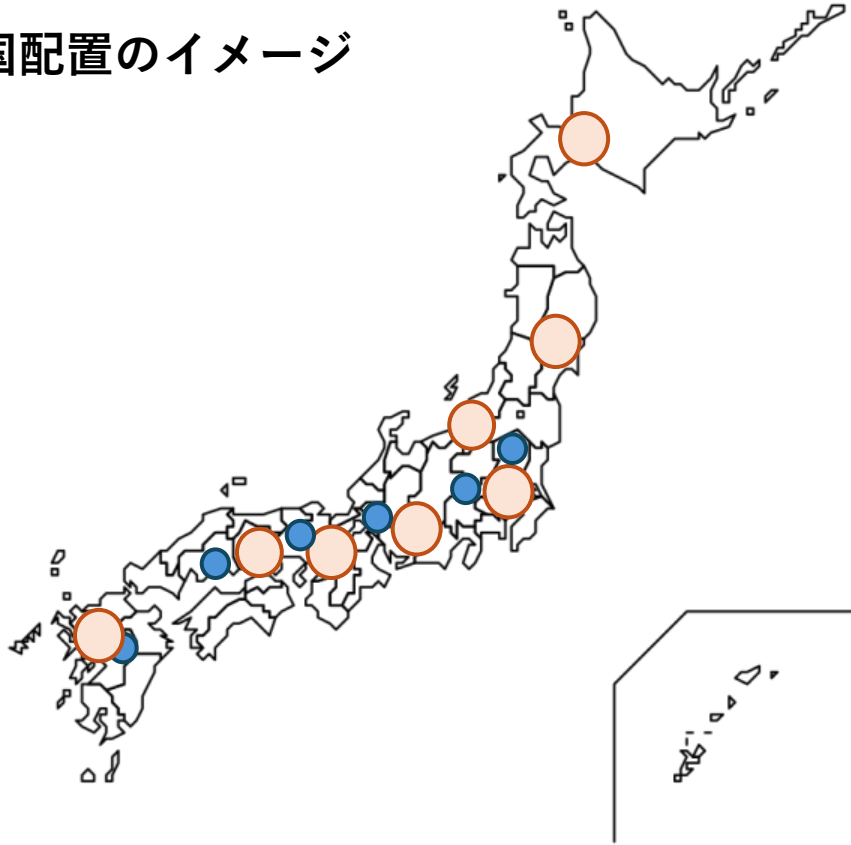
[こちらをクリック](#)

- ・（一社）日本救急医学会
- ・（一社）日本脳神経外科学会
- ・（一社）日本集中治療医学会
- ・（公社）日本臓器移植ネットワーク
- ・ 日本移植コーディネーター協議会
（事務局：日本集中治療医学会事務局内）

HPリンク：日本救急医学会HP

認定ドナーコーディネーター協議会としての今後の方向性

全国配置のイメージ



協議会設立

特に経験豊富な施設に1名配置
(各地域に1~2名)

経験豊富な施設に1名配置
(各地域に2~3名)

全ての都道府県に1~2名配置
(各地域に5~6名)

全ての複数事例経験施設に1~2名配置
(各地域に10名以上)

ドナー関連業務法人と連携し
臓器提供を地域で完結できる仕組みを補強

2026

2027

2028

2029

2030